

2025 第3回

いわて自死遺族フォーラム 花あかり

「死にたかった」のではなく、「生きたかった」大切な人の死から考える

大切な人をなくした遺族とその仲間たちによる団体、

「はーとステーション花あかり」で開催するフォーラムです。

今回は、死のあり方や捉え方に広く目を向けて、自死で亡くなった人の死をどのように捉え、

遺された人達がこれからも生きていくために必要なこと、できることは何かを考えます。

遺族にとっては、語り合えるつながり、想いを聞こうとする周りの方々のまなざしは、

生きていく一つの光になります。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時：2025年12月14日（日）13:00～15:45（受付開始 12:40）

会場：盛岡市プラザおでって 3階大会議室

対 象：身近な人を自死で亡くされた方

自死や遺族に心を寄せてくださる方、話を聴いてみたい方

自死対策関係者、相談支援機関・団体の方 など

※参加申込及びお問合せ先は裏面をご覧ください。

定員50名
入場無料

プログラム

第1部 講演 「生と死の現場、外務省勤務経験から学んだこと」

講師：仲本光一 氏（盛岡広域地方振興局保健福祉環境技監 兼 県央保健所長）

～元外務省診療所長として幾多の事件・事故などで突然亡くなった人や遺族への
対応経験を踏まえ、死のあり方や捉え方についてメッセージをいただきます～

第2部 遺族の語りと交流

遺族の語り : 「"生きたかった"あなたへの想い」

参加者との交流 : 「"生きたかった"あなたへ、遺された私たちができること」

助言者 : 仲本光一 氏

🌸はーとステーション花あかりの遺族からのメッセージ🌸

自死や遺族についての差別や偏見はまだ多く、社会には自死した人やその遺族の生き方が否定されるように感じる状況や言葉が少なくありません。遺族と社会の自死に対する理解が広がり、最期の一点だけでその人を判断するのではなく、大切な人の死を愛しみ、語ることができると社会への一歩となるように願い、毎月1回の語りあいのつどいや、カフェ形式の交流を開いています。

主催・協力

主催：はーとステーション花あかり

共催：岩手県精神保健福祉協会 / 岩手県県央保健所 / 岩手県二戸保健所 / 岩手県一関保健所

後援：一般社団法人ito（北上市） / 自死遺族自助グループしまね分かち合いの会・虹（島根県）

自死遺族による茶話会あさがおの会（青森県） / 盛岡ハートネット（盛岡市）

心の病と共に生きる仲間達連合会キララ（一関市）

※令和7年度精神保健福祉活動等助成金を受けて岩手県精神保健福祉協会と協力して実施するもの

(チラシ裏面)

【参加申込方法】

- ① メール、FAX：下記申込用紙に記載の上、申し込み先へお願いします。
- ② ショートメール：お名前、連絡先（電話番号等）、関係機関の方は所属を記載し、090 - 2842 - 9795（庶務 北川あて）に送信願います。

(別紙：参加申込用紙)

【宛先】 はーとステーション花あかり 庶務担当 行

Fax： 0191 - 23 - 8839

E-mail： koron3612@yahoo.co.jp

第3回 2025 いわて自死遺族フォーラム花あかり

参加申込書

(令和7年12月14日実施)

(ふりがな) お名前	※個人でご参加の方	※相談支援関係機関・団体の方のみ記入	
	連絡先	職 名	所属機関・団体名
〈 〉 〈市町名： 〉	Tel : Mail :		○機関・団体名 ○連絡先
() 〈市町名： 〉	Tel : Mail :		Tel : Mail : (担当者：)

※氏名と連絡先のご記入をお願いします。

※相談支援関係機関・団体（ボランティア含む）にご所属している方は、氏名、職名及び機関・団体名等のご記入をお願いします。所属から参加する方で職場への連絡を希望する方は職場の連絡先及びご担当者のお名前のご記入をお願いします。

※把握した個人情報、申込に係る連絡以外には使用いたしません。

会場の関係により定員50名のため先着順になりますことをご了承ください。

【申込期限：令和7年12月2日】

申込先/問合せ先

はーとステーション花あかり（担当：庶務 北川）

メール：koron3612@yahoo.co.jp

・Fax :0191-23-8839

電話/ショートメール：090-2842-9795

